

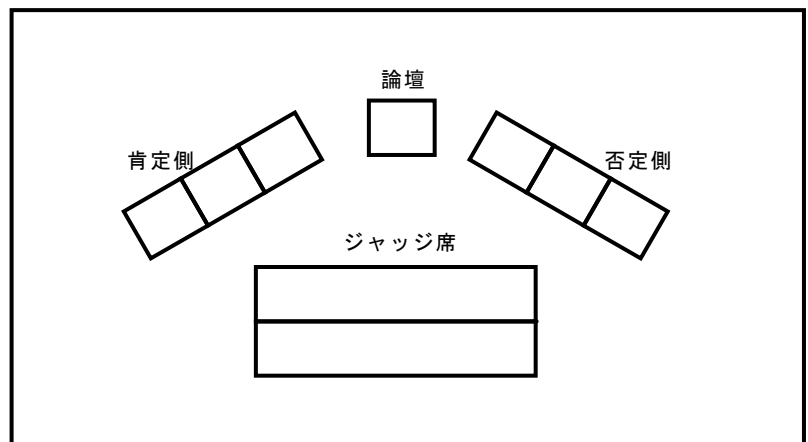
■具体的な授業の流れ

対 象：高校1年生 4クラス （計110名）
 時 期：2011年5月～2011年6月（8時間）
 授 業 者：・田拓也 船田智史 高田真理
 内 容：ディベートテーマ

- ①「著作権の罰金は安すぎる。是か非か。」
- ②「動画投稿サイトへの投稿は厳しく取り締まるべきだ。是か非か」
- ③「本屋での撮影は認められるべきだ。是か非か」



条 件：制限時間：20分
 肯定側立論 2分
 準備時間 1分
 否定側質疑 3分
 否定側立論 2分
 準備時間 1分
 肯定側質疑 3分
 準備時間 2分
 否定側反駁 3分
 肯定側反駁 3分



回数	内 容	備 考
(1)	ディベート授業① ～著作権学習～	【春休みの宿題で、著作権についての基本知識は習得済み】 ●情報化の進展や著作権の侵害について学ぶ。 ●著作権クイズをペアでつくる。
(2)	ディベート授業② ～ディベートを学ぶ～	●モデルディベートを映像でみる。 ●課題内容や試合時間、勝敗の決め方を伝える。
(3)	ディベート授業③ ～グループ設定・テーマ発表～	●教師によって、チームをランダムに決める。 (1チーム2～3名) ●チームの希望をもとにテーマに決定する。
(4) 以後に説明	ディベート授業④⑤ ～調べ学習～	●コンピュータ検索に関する基本知識を学ぶ。 【検索エンジンにおけるディレクトリ型やロボット型、and検索、or検索など】
(5)		●配布したワークシートを適宜利用させる。
(6) 以後に説明	ディベート授業⑥ ～作戦を練る（立場の決定）～	●教師からテーマにおける是非の立場に伝える。 ●調べた内容から、モデルフローシートを完成させる。 ●ストップウォッチをチームに渡し、発表する内容の時間的な感覚を身につけさせる。

<p>(7) 以後に説明</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●あらかじめ決めたルールに従って、試合を進めていく。 ●ジャッジするものは、ディベートフローシートで流れをしっかり把握させる。 ●判定シートを回収して集計結果を発表する。 ●最後に振り返りの時間をとる。
<p>(8) 以後に説明</p>	<p>ディベート授業⑦⑧ ～本番開始～</p>	<p>【ディベートの感想と著作権への知識や考えをまとめる】</p>

■各回での生徒の様子や取り組み【 () 番号は、P2～3のもの 】

(4) ディベート授業④⑤ ～調べ学習～

次のようなワークシートを使って、調べ学習を進めさせた。
実際にシートは、①～⑬まで教師側で用意した。

調査シート①

言葉の定義

- ・著作権違反の罰金とは
- ・(本屋での) 撮影とは

- ・動画投稿サイトとは

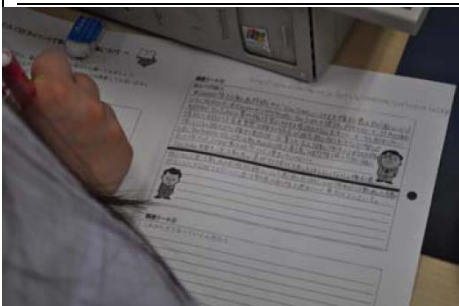


調査シート②

諸外国の例

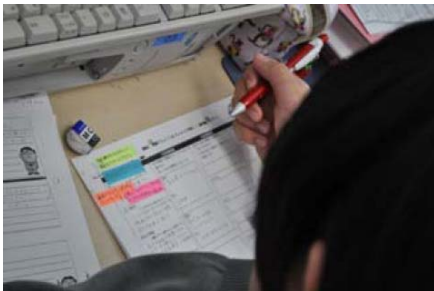
調査シート③

日本国内の例



(6) ディベート授業⑥ ～作戦を練る(立場の決定)～

調べた内容をチームでシェアし、モデルフローシートで本番をイメージして対策を練る。



① 相手の立場	② 相手の立場	③ 相手の立場	④ 相手の立場
<p>プラン</p> <p>①の相手の立場から、一でついでに考えます。 ②(二つ)の立場も考えましょう)</p> <p>【相手の立場】</p> <p>相手の立場を考えたプランを記入してください。</p>	<p>質問1</p> <p>答え</p> <p>質問2</p> <p>答え</p> <p>質問3</p> <p>答え</p>	<p>①または②の相手の立場から、一でついでに考えます。 ③ ④以上2つの立場は、同じターンで追加します。</p> <p>1.</p> <p>なぜなら、</p> <p>2.</p> <p>だから、</p> <p>3.</p> <p>ではありません、なぜなら</p> <p>むしろ</p> <p>よって</p>	<p>①または②の相手の立場から、一でついでに考えます。 ④ ④以上2つの立場は、同じターンで追加します。</p> <p>まとめ</p> <p>よって</p>

① 相手の立場	② 相手の立場	③ 相手の立場	④ 相手の立場
<p>プラン</p> <p>①の相手の立場から、一でついでに考えます。 ②(二つ)の立場も考えましょう)</p> <p>【相手の立場】</p> <p>相手の立場を考えたプランを記入してください。</p>	<p>質問1</p> <p>答え</p> <p>質問2</p> <p>答え</p> <p>質問3</p> <p>答え</p>	<p>①または②の相手の立場から、一でついでに考えます。 ③ ④以上2つの立場は、同じターンで追加します。</p> <p>まとめ</p>	<p>①または②の相手の立場から、一でついでに考えます。 ④ ④以上2つの立場は、同じターンで追加します。</p> <p>まとめ</p>

(7) (8) ディベート授業⑦⑧ ～本番開始～

あらかじめ決めたルールに従って、試合を展開していき、ジャッジするのは、ディベートフローシートで試合の流れをしっかりと把握する。



【ディベート終了直後の生徒の感想】

生徒：相手の質問を想定して、情報を集めるのが難しかったです。
うまいいけないこともあったし、肯定側質疑のなかで、質問したいこともたくさんありました。もう一回反駁したかったです。否定したいことがたくさんあったからです。
今回のディベートは初めてで不安なことがたくさんあったけど、よい経験ができたと思います。

生徒：ディベートを行って、意見を通す大変さがわかりました。言いたいことが言えなかった。でも、楽しかったです。

生徒：終わってみて、もっと調べておけばよかったと思います。
調べたものをまとめていなかったのが、実際に前に立って発言するのは、やりづらかったです。きちんとまとめていれば、相手チームの質疑や反駁ができやすく自分たちも何を言っているのかもわかりやすくなるのでディベートしていても楽しかったと思います。

生徒：ディベートは最初、ぜんぜん何のことかも分からなかったけど、どんどん分かってきて調べることも調べたけど、相手のことを確実に追い詰めることができませんでした。もっとできたと思います。自分のなかでちゃんとした意見があるし、計画も立てていたけれど、それをもっと話し合っただけで教えるべきだったと思います。これを次にやる時は、絶対に勝てると思いますし、もっと自分の言いたいことを表現できると思います。相手は勝ったけど、自分たちも負けてはなかったとも思います。次やるなら、また同じ対戦相手とやりたいです。
結構楽しかったし、つい唸ってしまったけど、私はとりあえず自分の言いたいことがいえたので、よかったと思います。



■ディベートより深まった共通理解について ～生徒のまとめより一部抽出～

①著作権の罰金は安すぎる、是か非か。

- ・著作権が親告罪であることを初めて知った。
- ・親告罪のよいところ、わるいところを知ることができ、それについて考える時間ができた。
- ・国内での判例や海外での事例を知って、日本という国の著作権に対する考えがわかったような気がした。
- ・法律の解釈の難しさを感じた。
- ・著作権関連の事件の数を知る機会になった。
- ・ただ罰金を高くするだけでは、犯罪件数が減らない可能性を感じた。

②動画投稿サイトへの投稿は厳しく取り締まるべきだ。是か非か。

- ・たくさんの事例を知り、動画投稿サイト自体が悪いわけではない気がした。
- ・海外での利用状況などがわかり、日本の傾向がわかったような気がした。
- ・動画投稿サイトでの違法行為の数や事例を知ることができた。
- ・動画投稿サイトの利用する側の人たちの動向の変化がよくわかった。
- ・通報ボタンをもっと大きくわかりやすくするなど、まだ工夫の余地があることがわかった。
- ・単純に取締りを厳しくするだけでは、ダメだということがわかった。

③本屋での撮影は認められるべきだ。是か非か。

- ・撮影することを公に認めてしまえば、どれほど悪影響がでるのかが、よくわかった。
- ・デジタル万引きが犯罪ではないこと、しかしマナーやその後の効果を考えれば、やってもよい行為とはいえないことがわかった。
- ・作家さんの気持ち、書物を扱うお仕事をしている人の気持ちを考える機会ができた。
- ・私は、絶対に反対だという思いが再確認できた。
- ・デジタル万引きとされる行為をインターネットに投稿している現状がわかった。

